

ヘッドセットマイクの養生について

ヘッドセットマイクのご購入ありがとうございました。
現場でトラブらない為に、弊社がレビュー等のSR現場で対策しております養生を紹介させていただきます。
既にご存じの事とは存じますが、貴社の現場の参考になればと思います。

このような対策を、弊社ではD:fine 66やMKE-2でもおこなっております。販売されたままのマイクでは、残念ながら過酷な現場は乗り切れないのが現状です。

その1. 汗養生について。

①マイクブーム(竿)部分にガラコ等の車用ガラス撥水剤を塗布します。(ピンマイクの場合はテープ(3Mマイクロポア等)で汗を吸収します。)

②マイクブーム先端部に汗落とし用リングをグルーガンで作ります。

③ウインドスクリーンのご使用を強く推奨します。

※1 使用しない場合は化粧用パフを円柱状に抜いた物にガラス撥水剤を染ませて乾燥させたものをマイク先端に防水テープ(ニチバンシアテープ等)で貼り付けます。

※音と指向性が少し変化してと思われる。

(化粧用パフの型抜きは、小さなシャープペンシルの後部キャップをパフに当てて、ハンマーで叩きます。)

④マイク後端がコネクタになっているタイプはきつく締めて防水テープで防水をします。

⑤マイク装着時にマイクブーム部分が演者の頬から離れるように調整します。頬に密着していると、マイクブーム部分が雨どいのようになり、汗がマイク先端に流れます。

⑥演者に送信機を渡す時に、送信機をチャック付きビニール袋やゴム手袋等に入れて渡します。

その2. ケーブル断線対策について。

(1)コネクタとケーブルの継ぎ目を折り返し軽めにテーピングして、1点に力をかけないようにします。

(2)マイク側とケーブルの継ぎ目も同様に折り返し、軽めにテーピングし、1点に力をかけないようにします。

(3)ケーブルやマイク本体(首の後ろや、耳の下等の目立たない部分)をヘアピンや汗に強い運動用テープで固定します。

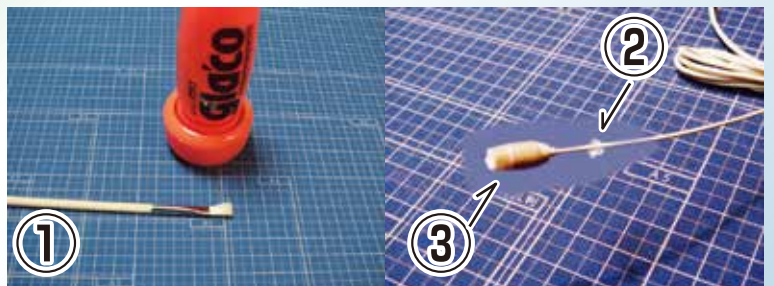
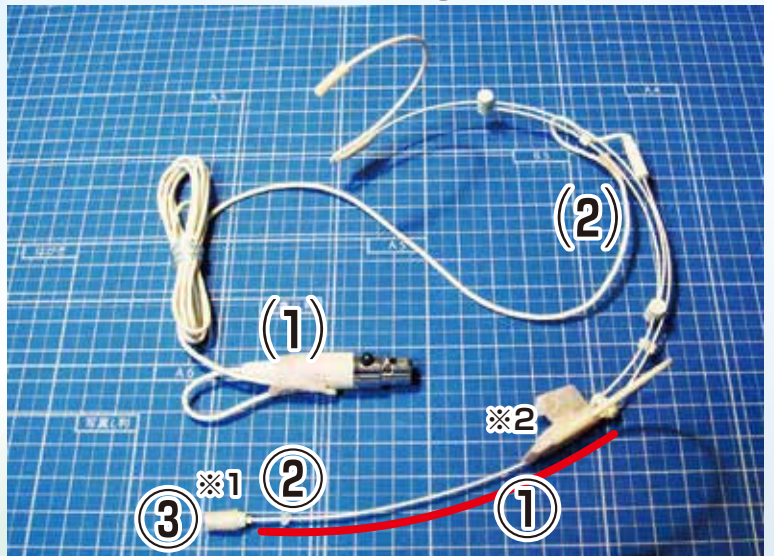
◎テーピングする際に首などの可動部分にはゆとりを持たせて下さい。

(4)口紅やドーランを付にくくするためと、付属ウインドスクリーンが外れないようにするため、防水テープでウインドスクリーンとマイクブーム内側を貼付ける場合もあります。

(写真は無指向性です。単一指向性の場合はマイクにかからないようご注意ください。)

※2 大きめのピアス・イヤリングが干渉して音がする場合は、柔らかいテープで当たる部分を養生します。

※3 弊社では耐久性を上げるため、ケーブルにたこ糸と収縮チューブ(透明)を付けた事もありました。



とても激しいダンスでマイクがずれる場合の対策等、何かご質問があれば、お気軽にメール等にてご質問下さい。

※写真は商品と違う場合もございます

